

# 平成26年度 全国学力・学習状況調査結果の安来市の概要について

安来市教育委員会 学校教育課

平成26年4月22日に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査結果について、本市の概要をお知らせします。

## 1 全国の状況

○本年度の調査は、国語、算数・数学の2教科で、小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童生徒を対象とした調査でした。  
 これまでの調査で見られた課題についての改善状況を把握する観点から問題が出題されています。全体的には、都道府県別の成績(平均正答率)は全国平均と下位層の差が縮小傾向にあり、学力の底上げが進んでいると考えられます。

## 2 安来市の状況

### (1)教科の概要

#### 〈小学校6年生〉

国語:全体では、全国平均をやや下回る状況でした。  
 ・主として知識については、「話すこと・聞くこと」の平均正答率が全国平均を大きく下回っており、他の3領域でもやや下回っています。  
 ・主として活用については、「書くこと」の領域で全国平均をやや上回っていますが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関すること」では全国平均を下回り、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」ではやや下回っています。  
 算数:全体では、全国平均をやや下回る状況でした。  
 ・主として知識については、「数量関係」の領域で、全国平均をやや上回り、「量と測定」、「図形」で下回り、「数と計算」がやや下回っています。  
 ・主として活用については、「量と測定」、「数量関係」の領域で全国平均を下回り、「数と計算」、「図形」でやや下回っています。  
 ○国語A・B、算数A・Bとも平成25年度に比べ、全国平均との差は縮まっています。

【国語A】(主として「知識」に関する問題)

国語A		平均正答率(%)				
		安来市	県	全国	全国との差	全国との差
全体		71.9	73.6	72.9	-1	△
領域	話すこと・聞くこと	65.0	70.4	72.4	-7.4	▲
	書くこと	69.3	70.5	72.2	-2.9	△
	読むこと	65.8	66.7	68.5	-2.7	△
	伝統的な言語文化と国語の特質に関すること	73.5	75.0	73.7	-0.2	△

【国語B】(主として「活用」に関する問題)

国語B		平均正答率(%)				
		安来市	県	全国	全国との差	全国との差
全体		54.5	54.5	55.5	-1	△
領域	話すこと・聞くこと	49.7	49.8	51.2	-1.5	△
	書くこと	35.3	32.3	34.4	0.9	○
	読むこと	56.5	56.5	57.3	-0.8	△
	伝統的な言語文化と国語の特質に関すること	66.3	69.9	69.8	-3.5	▲

【算数A】(主として「知識」に関する問題)

算数A		平均正答率(%)				
		安来市	県	全国	全国との差	全国との差
活用		76.0	76.3	78.1	-2.1	△
領域	数と計算	79.7	80.0	81.8	-2.1	△
	量と測定	71.7	73.0	74.8	-3.1	▲
	図形	68.7	70.1	71.8	-3.1	▲
	数量関係	82.1	79.7	81.3	0.8	○

【算数B】(主として「活用」に関する問題)

算数B		平均正答率(%)				
		安来市	県	全国	全国との差	全国との差
活用		55.6	56.5	58.2	-2.6	△
領域	数と計算	59.1	59.8	61.3	-2.2	△
	量と測定	53.5	54.8	56.5	-3.0	▲
	図形	64.5	63.9	65.7	-1.2	△
	数量関係	52.7	54.6	56.2	-3.5	▲

※安来市の平均正答率が全国平均との差が+3ポイント以上を○、全国平均を上回り+3ポイント未満を○、全国平均を下回り-3ポイントまでを△、-3ポイント以下を▲で表記しています。

〈中学校3年生〉

国語: 全体では、全国平均をやや上回る状況でした。

- ・主として知識については、「書くこと」の平均正答率が全国平均を大きく上回っており、他の3領域でもやや上回っています。
- ・主として活用については、「書くこと」「読むこと」の領域で全国平均を上回っており、「伝統的な言語文化と国語の特質に関すること」もやや上回っています。

○国語A・Bとも平成25年度に比べ、全国平均との差をやや広げています。

数学: 全体では、全国平均をやや上回る状況でした。

- ・主として知識については、「数と式」、「図形」の領域で全国平均をやや上回り、「関数」と「資料の活用」でやや下回っています。
- ・主として活用については、「図形」の領域で全国平均を上回り、「数と計算」、「量と測定」、「数量関係」でやや上回っています。

○数学A・Bとも平成25年度は全国平均をやや下回っていましたが、平成26年度はやや上回っています。

【国語A】(主として「知識」に関する問題)

国語A		平均正答率(%)				
		安来市	県	全国	全国との差	全国との差
全 体		82.2	80.2	79.4	2.8	○
領域	話すこと・聞くこと	75.2	72.6	72.3	2.9	○
	書くこと	88.4	85.4	83.4	5.0	◎
	読むこと	85.1	84.2	82.9	2.2	○
	伝統的な言語文化と国語の特質に関すること	80.9	79.0	78.7	2.2	○

【国語B】(主として「活用」に関する問題)

国語B		平均正答率(%)				
		安来市	県	全国	全国との差	全国との差
全 体		53.9	52.0	51.0	2.9	○
領域	話すこと・聞くこと				0.0	
	書くこと	45.4	42.3	41.0	4.4	◎
	読むこと	52.5	50.7	49.2	3.3	◎
	伝統的な言語文化と国語の特質に関すること	59.0	57.3	56.8	2.2	○

【数学A】(主として「知識」に関する問題)

数学A		平均正答率(%)				
		安来市	県	全国	全国との差	全国との差
全 体		67.7	66.1	67.4	0.3	○
領域	数と式	78.9	76.7	77.4	1.5	○
	図形	68.3	66.1	66.4	1.9	○
	関数	55.5	56.0	58.0	-2.5	△
	資料の活用	57.1	55.1	59.1	-2.0	△

【数学B】(主として「活用」に関する問題)

数学B		平均正答率(%)				
		安来市	県	全国	全国との差	全国との差
全 体		62.2	59.1	59.8	2.4	○
領域	数と計算	57.5	54.4	56.9	0.6	○
	量と測定	60.9	57.8	58.6	2.3	○
	図形	67.8	64.1	64.4	3.4	◎
	数量関係	58.1	56.6	55.9	2.2	○

※安来市の平均正答率が全国平均との差が+3ポイント以上を◎、全国平均を上回り+3ポイント未満を○、全国平均を下回り-3ポイントまでを△、-3ポイント以下を▲で表記しています。

### (3)学習や生活の様子 —児童生徒質問紙調査より—

#### 〈小学校6年生〉

##### 【時間等で回答する項目から】

###### 〈電子メディアについて〉

- 普段(月～金曜日)1日当たりのテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり(テレビゲームをする時間は除く)する時間が4時間以上と回答した児童・・・全国19.8%、本市12.0%
- 普段(月～金曜日)1日当たりテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をする時間が4時間以上と回答した児童・・・全国8.9%、本市4.6%
- 携帯電話やスマートフォンを持っていない児童の割合・・・全国46.3%、本市62.2%

###### 〈家庭での学習時間について〉

- 学校の授業時間以外の、普段(月～金曜日)の1日当たりの勉強時間(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)が2時間以上と回答した児童の割合・・・全国25.8%、本市12.9%
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日の1日当たりの勉強時間(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)が3時間以上と回答した児童の割合・・・全国11.5%、本市5.8%

###### 〈読書・図書館について〉

- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に週に1～3回程度行くと回答した児童の割合・・・本市37.6%、全国18.7%

##### 【全国と安来市との比較で特徴的な評価項目】

###### 肯定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの)

- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。(＋17.2)
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。(＋6.3)
- ・家で、学校の授業の復習をしていますか。(＋6.2)
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。(＋5.4)
- ・国語の勉強は好きですか。(＋5.3)

###### 否定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの)

- ・5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。(－7.2)
- ・算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。(－5.4)
- ・400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。(思う＋5.4)
- ・5年生までに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。(－5.0)
- ・算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。(－3.7)

## 〈中学校3年生〉

### 【時間等で回答する項目から】

#### 〈電子メディアについて〉

- 普段(月～金曜日)1日当たりのテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり(テレビゲームをする時間は除く)する時間が4時間以上と回答した生徒・・・全国15.7%、本市9.9%  
普段(月～金曜日)1日当たりテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をする時間が4時間以上と回答した生徒・・・全国11.0%、本市6.2%
- 普段(月～金曜日)1日当たり携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)時間が4時間以上と回答した生徒・・・全国11.0%、本市4.7%  
携帯電話やスマートフォンを持っていない生徒の割合・・・全国23.5%、本市38.5%

#### 〈家庭での学習時間について〉

- 学校の授業時間以外の、普段(月～金曜日)の1日当たりの勉強時間(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)が2時間以上と回答した生徒の割合・・・全国平均35.1%、本市13.3%  
30分より少ない(「全くしない」を含む)生徒の割合・・・全国14.7%、本市18.3%
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日の1日当たりの勉強時間(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)が3時間以上と回答した生徒の割合・・・全国16.9%、本市10.3%  
全くしないと回答した生徒の割合・・・全国11.3%、本市7.8%

#### 〈読書・図書館について〉

- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に月に1～3回程度行くと回答した生徒の割合・・・本市38.9%、全国18.9%

### 【全国と安来市との比較で特徴的な評価項目】

#### 肯定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの)

- ・1, 2年生のときに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか。( +20.5)
- ・「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。( +18.8)
- ・1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。( +11.6)
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。( +11.1)
- ・「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。( +10.8)

#### 否定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの)

- ・1, 2年生までに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。( -24.3)
- ・1, 2年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。( -16.0)
- ・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。( -11.7)
- ・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。( -11.5)
- ・家で、学校の授業の予習をしていますか。( -11.5)

### 3 結果を受けて

#### 〈学校では〉

- 国語、算数・数学において、すべての児童・生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させることが大切です。そのために、個に応じたきめ細かな指導を充実させたり、補充的な学習を取り入れたりする必要があります。また、思考力・判断力・表現力等を育成し、学習意欲の向上を図るために、発展的な学習を取り入れ、児童・生徒が互いに学び合う中で、分かる喜びを実感できるような授業実践を目指して工夫・改善に取り組むことが求められます。
- 児童・生徒が主体的に、見通しをもって学習に取り組むために、授業のはじめに目標(めあて・ねらい)を示すこと、また、学習したことを整理し、理解の定着を図るために、授業の最後に学習内容を振り返る活動をおこなうことが必要です。
- 学力調査において、課題の見られた設問について各校で分析し、該当の単元について授業の改善をする必要があります。学力調査の結果分析を改善策の策定に活かし、実践し、評価するPDCAサイクルの構築が必要です。その際、年度ごとにリセットされることのないよう次年度へ継続し改善を図ることが大切です。
- 小・中学校が児童生徒の学力や生活習慣における共通の課題を明確にし、9年間の内容を系統化し、継続して指導に当たることで、大きな成果が上がるものと考えられます。
- 保護者と連携しながら、家庭での学習習慣や生活習慣の確立に努める必要があります。
- 地域の行事に参加する児童・生徒が多いことは本市の特色です。これまで各学校で取組んできたふるさと教育の成果であると考えられます。今年度各中学校ブロック毎に作成したつけたい力の系統性をもとに、今後さらに充実した取組が期待されます。
- 図書館に行ったり、読書習慣の身についた児童生徒の多いことも本市の特色であり、これまで各学校で、司書教諭、学校司書を中心に読書活動の推進に取り組んできた成果であるといえます。今後は、授業における図書館活用教育のいっそうの充実により、児童生徒の活用の力を高めることが必要です。

#### 〈家庭、地域では〉

##### ◎家庭へのお願い

児童・生徒の学力の定着を図るために、以下のような取り組みをお願いします。

- 基本的な生活習慣を身につけさせましょう。
  - ・あいさつや食事、睡眠、起床時間など規則正しいリズムを身につけると、児童生徒の本来持っている力が高まります。
- 家庭で主体的に学習する習慣を身につけさせましょう。  
(各学校で配布されている家庭学習の手引きが参考になります。)
  - ・日々、家庭で学習することが学力向上につながります。
  - ・小学生は、学年段階に応じて宿題や授業の予習・復習などに主体的に取り組むことで、中学生は日々、家庭で計画を立てて主体的に学習することで、幅広い学力が定着します。
- 家庭でのコミュニケーションを大切にしましょう。
  - ・授業参観や学校行事のことなど学校での出来事や、テレビのニュース番組を見たり、新聞を読んだりして気づいたことなどを話しましょう。(家庭で学校のことを家族と話し、社会に対する興味・関心の高い児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。)
- 日常生活の中で社会のルールやマナーを身につけさせましょう。
  - ・思いやりの心や社会性などの豊かな心を育むことができます。
- 家庭での読書をさらに勧めましょう。
- 地域の行事に積極的に参加したり、郷土の自然や文化にふれる体験をしたりしましょう。

##### ◎地域の皆様へのお願い

「地域の行事に参加している」児童生徒が多いことは、本市の大きな強みと言えます。これは、本市で進めているふるさと教育に対して地域の皆様にご協力をいただいている賜物であると考えています。ふるさと教育については、今後より充実したものになりますよう取組んでいきますので、引き続きよろしくをお願いします。

安来市の各小・中学校では、児童・生徒の学力向上を目指し、授業改善はもとより、授業時間以外でも様々な活動に取り組んでいます。安来市教育委員会としては、全国学力・学習状況調査と島根県学力調査の結果を分析し、さらに学校訪問や各校の授業研究会などの取組の成果や課題を考察した上で、今後の各校の学力向上に向けた具体的な改善の取組を支援していきます。

また、学習習慣や生活習慣の確立が学力の定着に極めて重要であることを鑑み、今後さらに学校と家庭とが連携する取組や保育所園・幼稚園・小学校・中学校が連携する取組を支援していきます。